

4. 平成24年度以前入学者用

(1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

C群の略号は次の通りです。 E…英語、D…ドイツ語、F…フランス語、C…中国語、R…ロシア語、I…イタリア語、S…スペイン語、K…朝鮮語、A…アラビア語、日…日本語（外国人留学生対象）
EX群は、文学部の平成22年度以降入学者を除き、卒業に必要な単位として認定されません。

学部	入学年	A 群		B 群	C 群	D 群	備 考
		人文科学	社会科学	自然科学系科目	外国語科目	保健体育科目	
総合人間	平成21～24	特に定めなし (総合人間学部便覧を参照してください)			EDFCRISK A日のうちから12単位以上 ※ただし、1外国語から6単位以上、その他の1または2外国語から6単位以上とする	特に定めなし (総合人間学部便覧を参照してください)	※C群科目(外国語科目)の履修方法については、「全学共通科目履修の手引き」に掲載されている学部の指示事項及び「5. 外国語の履修について」の内容に従って、科目を選択すること。 ※日本語を選択できるのは外国人留学生だけとする。 ※外国人留学生の母語の科目は、外国語科目に含まれない。
文	平成22～24	A群、B群、D群、EX群から自由に36単位以上 (ただし、A群・B群それぞれ8単位以上修得すること)			EDFCRISKのうちからEDFいずれか一つを含め2か国語それぞれ8単位以上 計16単位以上	A群、B群、D群、EX群から自由に36単位以上 (ただし、A群、B群はそれぞれ8単位以上修得すること)	※C群でEを修得する場合、8単位のうち2単位については、文学部提供全学共通科目「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※C群でE以外を修得する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上修得すること。なお、スペイン語I(会話)は、C群の卒業に必要な単位として認定しない。
教育	平成23～24	16単位以上		8単位以上	EDFCRISK A日のうちからEDFいずれか一つを含め2か国語それぞれ8単位以上 計16単位以上 ただし、外国人留学生のみ日本語4単位を認める	A群、B群、D群から自由に4単位以上	※C群でEを履修する場合、英語I、II、英語(教育科学)のうちから8単位(8単位のうち2単位は「英語(教育科学)」)を履修すること。 2回生配当科目「英語(教育科学)」は、前後期1科目ずつ履修すること(2単位のみ認定)。「英語(教育科学)」、「英語I、II」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 E以外の外国語は初級から4単位、中級・上級から4単位を履修すること。
法	平成20～24	20単位以上		8単位以上	E8単位(うち2単位は「法学政治学英語I・II」※1(各1単位)でなければならない)、およびDFCRISK Aのうち、いずれか1か国語8単位以上 計16単位以上	講義2単位 実習2単位 計4単位※2	※1 平成25年度より「法学政治学英語A・B」を科目名変更。「法学政治学英語I・II」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※2 A群またはB群の単位で代替可能(部分的代替可能)

学部	入学年	A 群		B 群	C 群	D 群	備 考
		人文科学	社会科学	自然科学系科目	外国語科目	保健体育科目	
経済	平成20～24	16 単位以上		12 単位以上	※EDFCRISK A日のうちから2か国語それぞれ8単位以上 計16単位以上 ・「スペイン語Ⅰ（会話）」は卒業単位として認めない ・日本語は外国人留学生のみ認める	講義2単位 実習2単位 計4単位※	※平成20年度から24年度までの入学者は、C群でEを修得する場合、8単位のうち2単位については「経済英語A・B」（各1単位）を修得しなければならない。「経済英語A・B」単位未修得者は、（2）各学部の指示事項参照。 ※D群科目を含まず、A群、B群、C群科目の中からそれぞれの最低必要単位数以外で自由に計4単位で代替可能
理	平成21～24	A群科目、新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）及びKUINEP※から16単位以上（24単位まで卒業に必要な単位として認める）		理学部学部科目の専門基礎科目とB群科目などから理学部が専門基礎科目に指定したのから24単位以上（38単位まで卒業に必要な単位として認める）	EDFR日のうちから1か国語について6単位、それ以外の外国語（EDFCRISK A日）から合計4単位以上 総計10単位以上（12単位まで卒業に必要な単位として認める） ただし、日本語は外国人留学生のみ認める	選択 〔4単位まで卒業に必要な単位として認める〕	※KUINEPは、A群として履修した場合のみ、卒業に必要な一般教養科目として認める。 ※EX群については、卒業に必要な単位として認定しない。
医 （医）	平成21～24	20 単位以上 （うち2単位はD群科目で代替可能）		数学・物理学・化学・生物学の4領域の中から少なくとも3領域を選び、必修科目「医学概論」4単位※1、「統計入門」2単位※2 及び選択必修科目6単位以上を含む20単位以上※3	12 単位以上 （「科学英語（医学）」2単位を含むE8単位以上、及びD又はFから4単位以上）		※1 平成29年度末時点で「医学概論」未修得の学生は、履修にあたって別途医学部教務課学部教務掛に確認すること。 ※2 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修すること。 ※3 医学部医学科がB群単位として認める科目、及び各科目の領域については、医学部が別途配付する修得すべき各領域の科目指定表により確認すること。
医 （人）	平成22～24	16 単位以上		18 単位以上	E6 単位以上とその他の外国語（DFCRISK A）のうちから1か国語4単位以上（初級・中級の組み合わせは自由）、計10単位以上		各専攻によって、特に履修を要望する科目があるので、注意すること。
薬	平成20～24	20 単位以上 （うち2単位はD群科目で代替可能）		必修科目10単位 選択必修科目12単位以上 選択科目（必修科目及び選択必修科目以外の科目）4単位以上 計26単位以上 （選択必修科目の卒業必要単位数12単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入）	12 単位以上 ※		※第1外国語（英語）8単位以上 必修科目2単位 選択科目6単位以上 第2外国語については、薬学部学生便覧参照

学部	入学年	A 群		B 群	C 群	D 群	備 考
		人文科学	社会科学	自然科学系科目	外国語科目	保健体育科目	
工	平成21～24	16 単位以上		※28 単位以上	2か国語以上 ※10 単位以上	※選択 (4 単位まで卒業 単位数に算入)	※学科によって異なるので、入学年の工学部履 修要覧を参照すること。
農	平成22～24	16 単位以上 (資源生物科学科、 応用生命科学科、 地域環境工学科、 森林科学科、 食品生物科学科) 18 単位以上 (食料・環境経済学科) ※ 上記単位のうち2 単位はD群科目で 代替することが可能		20 単位以上 (資源生物科学科) 各学科の推薦科目から12 単位以上を 含み、 20 単位以上 (応用生命科学科、 地域環境工学科、 森林科学科、 食品生物科学科) 18 単位以上 (食料・環境経済学科)	12 単位以上 「科学英語 (農学) A・B」※各1 単位を含む英語8 単位以上及びその 他の外国語1か国語4 単位以上 ただし、日本語は外国人留学生のみ 認める		※「科学英語 (農学) A・B」単位未取得者 は、(2) 各学部の指示事項参照。

(2) 各学部の指示事項

全学共通科目の履修については、以下の各学部の指示によるほか、各学部の便覧等を必ず参照してください。

総合人間学部

1. 総合人間学部で履修すべき授業科目には、学部科目と全学共通科目の区分があり、この区分により履修します。学部科目は総合人間学部固有の科目ですが、そのうちいくつかは全学共通科目としても提供されています。「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H（総合人間学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
なお、総合人間学部では全学共通科目の履修に関して、C群科目（外国語科目）以外は修得すべき必要な単位数の定めはありません。詳細は「総合人間学部便覧」を参照してください。
2. C群科目（外国語科目）の履修方法については、本冊子「5. 外国語の履修について」（p.46～）の内容に従って、科目を選択してください。
3. 平成23年度以前に修得したA・C群科目は、A群科目として履修した場合は2単位、C群科目（外国語科目）として履修した場合は1単位となります。
4. 京都大学国際教育プログラム（KUINEP）科目（平成29年度より廃止）は、A群またはB群のいずれか1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。
5. EX群（大学コンソーシアム京都単位互換科目）は、卒業に必要な単位として認定されません。

文学部

1. 「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『L（文学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
2. C群（外国語科目）で英語を修得する場合、8単位のうち2単位については、「文学部英語A」・「文学部英語B」（各1単位ずつ）を修得しなければなりません。
「文学部英語A・B」は、2科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として自分の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません（「文学部英語A・B」を修得後に、他系の専修に分属した場合、あらたに「文学部英語A・B」を履修し直す必要はありません）。「文学部英語A」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）A-E1」を、「文学部英語B」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）B-E1」履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングーリスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
なお、工学部地球工学科国際コース向け科目（授業一覧の備考欄に[International Course]と記載のあるもの）は卒業に必要な単位として認定しません。
3. 英語以外の外国語を修得する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上修得してください。
※「フランス語Ⅰ（8Hコース）」は16単位のうち4単位のみ、「ロシア語Ⅰ（8Hコース）」は、8単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅰ（6Hコース）」は12単位のうち4単位のみ、「ドイツ語Ⅱ（6Hコース）」、「フランス語Ⅱ（6Hコース）」は、12単位のうち4単位のみ、卒業に必要な単位として認めます。なお、スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
4. 文学部提供の「フランス語ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB」【学部科目名：フランス語中級、上級】をC群として履修する場合は、全学共通科目で履修登録（外国語予備登録も必要）してください。学部科目として履修する場合は、文学部での履修登録等の手続となりますので注意してください。
5. 「日本古代・中世政治文化論」（H28年度より廃止）、「日本古代・中世の歴史社会」（H28年度より廃止）、「日本史Ⅰ・Ⅱ」、「中国歴史風土論」（H31年度不開講）、「中国歴史地理論」（H31年度不開講）、「西洋史Ⅰ・Ⅱ」、「人文地理学各論Ⅰ～Ⅲ」、「地域地理学各論Ⅰ～Ⅲ」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定されます。
ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て、全学共通科目A群に変更することができます。手続き期間は4月及び10月のみ。締切日等詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示します。
なお、旧科目についても同様の取り扱いとなります。

教育学部

1. B群科目について

平成 23 年度以降入学者で入学試験を理系で受験した者には、次の科目を推奨します。

「情報基礎 [全学向]」「情報ネットワーク」「情報基礎演習 [全学向]」

2. C群科目について

C群(外国語科目)の第1外国語及び第2外国語の各8単位、合計16単位については次のとおり履修してください。

- ① 英語はI(平成28年度より廃止)、II(平成31年度より廃止)及び英語(教育科学)(平成29年度より廃止)のうちから8単位(8単位のうち2単位は「英語(教育科学)」を必ず含むこと)。2回生配当科目「英語(教育科学)」は、前後期1科目ずつ履修すること(2単位のみ認定)。
卒業に必要な英語I・IIの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修してください。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニングA・Bを履修することはできません。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。また、「英語(教育科学)」の単位が1単位不足している場合は、「外国文献研究(教育・英)I・II-E1」のいずれか1科目を履修し、単位を修得してください。「英語(教育科学)」の単位が2単位不足している場合は、「外国文献研究(教育・英)I・II-E1」の両科目を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
- ②英語以外の外国語は初級から4単位、中級・上級から4単位
※ 詳細は本冊子「5. 外国語の履修について」を参照してください。
- ③工学部地球工学科国際コース向け科目は(授業一覧の備考欄に[International Course]と記載のあるもの)卒業に必要な単位として認定しません。
- ④スペイン語I(会話)は卒業に必要な単位として認定しません。

法学部

法学部では、授業科目を教養科目と専門科目に分けています。

教養科目として履修すべき全学共通科目については、法学部便覧を参照してください。

なお、C群(外国語科目)の履修については、以下の点に注意してください。

- ①「法学政治学英語I」(平成29年度より廃止)の単位未修得者は「外国文献講読(法・英)I-E1」を、「法学政治学英語II」(平成29年度より廃止)の単位未修得者は「外国文献講読(法・英)II-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
- ②英語IIは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語I・IIの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
- ③フランス語を選択する場合、フランス語I(8Hコース)の修得単位数については、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めるので注意してください。

経済学部

1. B群科目について

◇平成20年度以前入学者

B群(自然科学系科目)のうち、「数学基礎A・B[文系]」を履修することを推奨します。

◇平成21年度以降入学者

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記①の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部学部指定の数学講義②を履修することを強く推奨します。数学の履修に関する質問があれば、入門演習の担当教員に相談することができます。

- ① 数学基礎(経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す)
数学基礎A・B[文系](8単位)を履修してください。
- ② 理系用数学講義(理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す)
微分積分学(講義・演義)A・B(6単位)、線形代数学(講義・演義)A・B(6単位)を履修してください。
なお、2回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。
- ②を履修した学生は、引き続き、微分積分学統論I・II(4単位)、線形代数学統論(2単位)も履修することを推奨します。

2. C群(外国語科目)の第一外国語及び第二外国語の各8単位、計16単位については、次により履修してください。

外国人留学生は、日本語を第一外国語または第二外国語とすることができます。

①英語は、英語Ⅰ(平成28年度廃止)、英語Ⅱ(平成31年度廃止)及び経済英語(2回生担当英語科目)(平成29年度廃止)から8単位

英語Ⅰ・Ⅱの単位未修得者は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。平成20年度から24年度までの入学者は、必ず、「経済英語A・B」(各1単位)を修得してください。「経済英語A」の単位未修得者は「外国文献研究(経・英)A-E1」を、「経済英語B」の単位未修得者は「外国文献研究(経・英)B-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、単位修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

②ドイツ語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位

③フランス語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位

(注)フランス語Ⅰ(8時間コース)は、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

④中国語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位

⑤ロシア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位

(注)ロシア語Ⅰ(8時間コース)は、8単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

⑥イタリア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位

⑦スペイン語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位

(注)スペイン語Ⅰ(会話)は、卒業に必要な単位に算入しません。

⑧朝鮮語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位

⑨アラビア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位

⑩日本語は、外国人留学生を対象とし、日本語上級※、「経済・経営日本語(上級)Ⅰ・Ⅱ」から計8単位を修得してください。

※平成31年度に開講される日本語上級の科目はp.60~を参照

理学部

1. 理学部において卒業までに必要とされる外国語科目群は「平成24年度以前入学者用(1)各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.237~)の表のとおりとします。

2. 理学部では、英語について、外国語科目の英語として読み替えられる科目全てを、卒業要件を満たす科目として認めています。

ただし、平成28年度まで開講されていた「科学英語(理学)」と「Frontiers and Paradoxes of Science」および平成29年度から開講されている「科学コミュニケーション(理・英)-E3」は同一科目と見なし、いずれか一つしか卒業単位として認めないので、注意してください。(複数科目の単位を修得した場合は、後に修得した方は増加単位となり卒業単位としては認められません。)

また、英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングリスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

3. 2019年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2019年度 教科の手引き』の「Ⅲ.系登録および卒業のための履修要件」のページを参照してください。

医学部〈医学科〉

1. 医学部医学科では2回生までに、教養科目として、A群、B群、C群ごとに必要な単位を修得しないと、3回生に進むことが出来ません。

2. 「Introduction to Medical Psychology-E2」、「Introduction to Behavioral Neuroscience A・B-E2」の履修を推奨します。

3. 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修してください。

4. C群(外国語科目)の英語2単位は、2回生で医学部提供の「科学英語(医学)」を必修とします。

5. 外国語科目のドイツ語を選択する場合は、ドイツ語ⅠA(文法)・ⅠB(文法)〈旧ドイツ語Ⅰ(文法)〉とドイツ語ⅠA(演習)・ⅠB(演習)〈旧ドイツ語Ⅰ(実習)〉を修得してください。

6. 二つ以上の群にまたがる科目の取り扱いについては、「A・B群」はA群、「A・C群」はA群、「B・D群」はB群として登録した場合のみ、修得すべき単位として認定しますので注意してください。

7. 詳細は医学部教務課学部教務掛に確認してください。

医学部〈人間健康科学科〉

1. 専攻ごとの履修を要望する科目

◎印は選択履修することを強く要望する科目、○印は選択履修することを要望する科目

※科目名変更・群変更については、「Ⅱ-2. 全学共通科目一覧」(p.87～)の備考欄及びKULASIS掲載の「平成29年度以前入学者用の科目一覧」を参照してください。

※「健康心理学Ⅱ」は、旧群がD群として開講されていますが、修得単位はA群として認定されます。

(1) 看護学専攻

科目名		単位数	入学年度による必選等		
			H22	H23	H24
A群	健康心理学Ⅱ	2		◎	
B群	基礎化学実験	2		○	
	情報基礎 [医学部]	2		○	

(2) 検査技術科学専攻

科目名		単位数	入学年度による必選等		
			H22	H23	H24
A群	健康心理学Ⅱ	2	◎		—
B群	初修物理学Aまたは物理学基礎論A	2		◎	
	初修物理学Bまたは物理学基礎論B	2		◎	
	物理学実験	2	◎		—
	基礎化学実験	2	◎		○
	情報基礎 [医学部]	2	◎		○
	情報基礎演習 [医学部] ※	2	◎		○

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

(3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻

科目名		単位数	入学年度による必選等		
			H22	H23	H24
A群	健康心理学Ⅱ	2		○ (作業のみ)	

2. その他の注意事項

- ① 平成28年度まで学部科目として開講されていた「リハビリテーション概論」の単位を修得している者が、平成29年度以降に全学共通科目「リハビリテーション概論」の単位を修得しても卒業に必要な単位として認めません。
- ② 京都大学国際教育プログラム(KUINEP)の科目(平成29年度より廃止)は、A群科目のみ卒業単位として認定します。
- ③ 工学部地球工学科国際コース向け科目は、卒業単位として認定します。
- ④ D群・EX群科目は、卒業単位として認定しません。

薬学部

1. B群(自然科学系科目)の必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は次のとおりです。

B群(自然科学系科目)……………26単位以上 全学共通科目

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目
	健康・生命科学入門	2	同上
	基礎物理化学(熱力学)	2	同上
	基礎有機化学Ⅰ	2	同上
	基礎有機化学Ⅱ	2	同上
選択必修科目	線形代数学(講義・演義)A	3	
	線形代数学(講義・演義)B	3	
	物理学基礎論A	2	
	物理学基礎論B	2	
	熱力学	2	
	物理学実験	2	
	基礎化学実験	2	
	生物学実習Ⅲ	2	
	薬用植物学	2	薬学部開講科目
	情報基礎 [薬学部]	2	同上
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同上

選 択 科 目	上記以外の科目		
---------	---------	--	--

2. C群（外国語科目）の必修科目2単位は、薬学部提供の「科学英語A・B」（平成29年度より廃止）を履修してください。「科学英語A」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A-E3」を、「科学英語B」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）B-E3」を履修してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニングA・Bを履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

3. B群選択必修科目の卒業必要単位数12単位を超えて修得した単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。

4. 科目名変更注意到意して登録してください。

工学部

年度当初に配付される「履修要覧」において、各学科毎に履修上の注意が示されています。不明な点については、当該学科の事務室に問い合わせてください。

農学部

平成24年度以前入学者は、当該入学年度の「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。但し、平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

（不明な点は農学部教務窓口にお問い合わせください。）

なお、森林科学科において、「地球科学序論」を学科が推薦するB群科目として認定していますが、平成26年度より下のおり変更していますので、注意してください。

・「地質工学入門」（「地球科学序論」（平成26年度科目名変更））を修得していない者の申し出により、「水と緑と土の科学」を学科が推薦するB群科目として認定